

B03		最終更新日		2025年4月4日	
プログラム名 (40字以内)	インドを深く学ぶ旅一日印学生交流を中心として				
団体名/所属	大学院人文社会系研究科				
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ		
募集人数	10人	選考対象	大学院学生を含む		
活動方法	現地活動のみ				
参加者に求めるもの	特になし(ただし、当該年度9月卒業者は参加できない)				
活動期間	2025/9/10(水)～9/18(木) (後ろにずれる可能性あり)	主な活動予定場所	インド		
プログラム実施の目的	・インド国内の大学を訪問し、インドの学生たちと交流する。 ・メディアなどの情報からは得られない、今のインドの本当の姿(目覚ましい経済発展の様子、貧困の現状、格差問題など)を深く知る。 ・世界で活躍する卒業生の経験に学ぶ。 ・専門家の解説付きでヒンドゥー教の聖地や仏跡を巡り、見聞を広める。				
具体的な内容(800字程度)	昨今、インドは世界のあらゆる分野でそのプレゼンスを増しており、今後の世界情勢などに鑑みても、インドは日本にとって最重要パートナーとなっていく可能性が高い。しかし現状では、日印の相互理解またその基礎となる人的交流が十分であるとは言えない。 今回の体験活動プログラムでは、東京大学の学生が協定先大学やインド各地を訪問することで、日印学生交流を盛り上げようというものである。 プログラム参加者は、月1回程度の事前学習と準備を行い、9月10日～9月18日(予定)にかけてはインドに滞在し、デリーにあるデリー大学(DU)、ヴァラナシにあるバラナシヒンドゥー大学(BHU)、ビハール州のナランダー大学などに訪問して学生交流会に参加する。事前準備においては、より多くのインド人学生に日本の魅力を伝える方法などについて討議し、各自プレゼンテーションを準備する。準備したプレゼンテーションを交流会にて発表してもらう予定である。参加者は事前の準備を通じて日印両国のことを深く学び、英語でプレゼンを行うという貴重な機会を経験することができる。 経済発展著しいインドであるが、全土を見渡してみれば発展から取り残された地域も多く存在する。このプログラムでは、インドで最も貧しい州といわれるビハール州の農村地帯にあるスジャータ村を訪問し、現地で学校建設や初等教育普及、女性の自立支援などをおこなうNPOの活動を見学する。 また、デリーでは、日本大使館、国際交流基金、JICAなどの国際機関などを訪問し、国際的な舞台で活躍する卒業生などからレクチャーを受ける予定である。 その他、本プログラムはインドや仏教を専門とする教員が帯同し、デリー近郊の歴史文化遺産および博物館訪問、ヴァラナシではガンジス河見学、プッダガヤでは仏跡見学など、インドを多角的に、深く学ぶことになる。 学生たちには、この機会にアクチュアルなインドを実際に肌で感じてもらいたいと考えている。インドの学生や現地の人々との交流を通じて、実体験から様々な学びが得られることを期待する。 以下は現時点での日程(案) 1日目 在印日本大使館、デリー大学などの訪問 2日目 デリーからプッダガヤへ移動 プッダガヤ見学(大菩提寺など仏跡見学) 3日目 スジャータ村を訪問し、貧困地帯での教育プロジェクトなどを見学 4日目 ナランダー大学(玄奘が留学した学舎が復活したもの)を訪問し、学生交流(そのほかラージギルなどの仏跡見学) 5日目 プッダガヤからヴァラナシへ移動 ヴァラナシ見学 6日目 バナラスヒンドゥー大学(BHU)にて学生交流 7日目 ヴァラナシからデリーへ移動 デリー市内を見学 8日目 JICA、国際交流基金、その他現地企業の卒業生を訪問して勉強会 過去のプログラムについては、以下で概容を見ることが出来る。 2023年度 : https://www.facebook.com/photo.php?fbid=826029152555222&set=pb.100054444341678_-2207520000&type=3 2024年度 : https://www.instagram.com/p/DCP8XrCT5xZ/?igsh=MXEwM2JzbWl1bjk2Nw== なお、参加者選考にあたっては、以下の点を重視する。この点を含めて申請書を作成すること。 ・インドへの渡航は初めてである。 ・帰国後にも学生交流活動などに積極的に参加したい。 (参考URL: https://ssp.jst.go.jp/report/2024/k_vol031.html) ・インドで行ってみたいところ、やってみたいことがある。				
【総額】参加するための費用	100,000円＋100,000～150,000円(デリーまでの往復航空券)				
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	40,000円(食費込み)				
【内訳】参加するための費用(交通費)	50,000円(国内移動)+100,000～150,000円(デリーまでの往復航空券)				
【内訳】参加するための費用(その他)	10,000円(見学科など)				
奨励金額(予定)	80,000円				
備考	この他にヴィザ申請費用(2,000円程度)が必要				
活動に関する関係資料のダウンロードサイト					
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)					
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する				

※本プログラムは実施時期が未定のため、他のプログラムと併せて申し込む方は、重複に注意してください。